

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 11 No.3 2009年2月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2008 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

日本タンバーク、1080p対応ビデオ会議システムの 新製品発表



TANDBERG Profile 52" Dual(52インチ液晶ディスプレイ2面モデル)

日本タンバーク株式会社(東京都港区)は、1080p対応ビデオ会議システム「TANDBERG Profile(タンバーク・プロフィール)」と「TANDBERG Codec C60」を発表。

TANDBERG Profileは、Codec C60とPrecision HD 1080pカメラを搭載し、液晶ディスプレイ42インチ1面モデル、52インチ1面モデル、52インチ2面モデルの3モデルを提供する。それら3モデルは、TANDBERG Codec C60と1080p対応カメラを内蔵するが、52インチ1面のモデルについては、6000 MXPのコーデック、720pカメラも選択が可能となっている。スピーカーは、ディスプレイ下部に内蔵、マイクは卓上タイプを提供する。また使用環境に応じて、設置型のスタンドアロンタイプ、カート式でオフィス内を移動させることができるウィールベース、壁に掛けて使用するウォールマウントタイプを選べる。

TANDBERG Profileは、シルバー色のアルミニウムデザインで統合したディスプレイとカメラ、そして背面はディスプレイとケーブル類をカバーしすっきりとしたデザインに仕上が

っている。その上、製品の寸法上の高さにも工夫が施されている。3モデルはディスプレイのインチサイズと内蔵台数の違いはあるが、アイコンタクトを自然におこなえるように3モデルとも同じ高さに設計されている。



写真(上):

TANDBERG

Profile 52"

(52インチ液晶ディスプレイ1面モデル)

写真(下):

TANDBERG

Profile 42"

(42インチ液晶ディスプレイ1面モデル)



「TANDBERG Profileは、インテリジェントでユーザーフレンドリーなインターフェイスを提供しつつ、あらゆる室内環境に適応する高い柔軟性を兼ね備え、リアルで自然なコミュニケーションを実現する。

そしてなめらかで魅力的なデザインには、リサイクル可能なアルミニウムを使用し環境にも配慮した製品だ。」(日本タンバーク)

TANDBERG Profile が実装する Codec C60 は、1対1接続で1080p30fps接続に対応。コンテンツ解像度も1080p(最高UXGA)に対応している。加えてMultiSite(多地点機能)接続において、4地点接続で720p30fpsの独立したトランスコード機能をサポートしている(MultiSiteとこの後のデータ共有におけるUXGAについては今後のソフトウェアアップグレードでサポート)。

従来の多地点システムでは、多地点に接続している端末に障害が発生すると他の端末にも影響してしまうことがあったが、このC60(また昨年発表されたCodec 90)でサポートされるトランスコード技術では、他の端末へ影響しない仕組みが提供されている。ちなみに、1080pで多地点接続を行う場合は、Codec C90に実装のMultiSiteに対応する。



TANDBERG Codec C60 前面



TANDBERG Codec C60 背面

Codec C60の音声は、全二重、20kHz広帯域ステレオ音声(AAC-LD Mono/Stereo)、自動ゲインコントロール(AGC)とノイズリダクションなどに対応している。データ共有機能においては、UXGAとフル1080p HDによるHDコラボレーションが可能。背面のインターフェイスにおいては、最大4つ

のマイク(独立したエコーキャンセラを装備)、最大4つのHD画像ソースを接続することが可能。ただし、同時に送受信可能なメディアソースは3つになる。

Codec C60は、次の2種類で製品が提供される。まずC60コーデック本体とリモコン/ケーブルのみの「Codec C60」、そしてC60コーデック、PrecisionHD 1080pカメラ、マイク(1台)、リモコン/ケーブルの「Codec C60インテグレートパッケージ」だ。後者のインテグレートパッケージは、「Codec C90」、「6000MXP Codec」、「3000MXP Codec」からでも選択ができる。

製品比較

	C90	C60	6000 MXP
応用例	テレプレゼンス、コラボレーションスタジオ、講堂	役員会議室、一般会議室、教育機関、医療機関	一般会議室、産業別アプリケーション、ISDN環境
画品質	最大1080p30fps (Optimal Definition)	最大1080p30fps (Optimal Definition)	最大720p30fps (Optimal Definition)
コラボレーション	12 HD入力を接続 (同時通信最大5入力まで)	4 HD入力を接続 (同時通信最大3入力まで)	2 HD入力を接続 (同時通信最大2入力まで)
MultiSite	HD MultiSite 1080p30fps 4サイト独立トランスコーディング	HD MultiSite 720p30fps 4サイト独立トランスコーディング	MultiSite SD 画像で6サイト+5音声サイトまで
マイク	8つ	4つ	3つ
ネットワーク	IP:SIPとH.323 ISDN: Gateway経由	IP:SIPとH.323 ISDN: Gateway経由	IP:SIPとH.323 ISDN/V.35:直接接続

*日本タンバーク発表資料を基にCNAレポート・ジャパンにて作成。

今回発表された製品の価格はオープン価格。日本タンバークによる参考価格は、Codec C60が350万円、Codec C60インテグレートパッケージが400万円、Profile 42インチが600万円、Profile52インチが700万円、Profile52インチ(2画面)が900万円、「Profile52インチ(6000MXP)」が550万円となっている。「Codec C60/C90は、国内で200

台から300台程度今年販売したいと考えている。」(日本タンバーク)ちなみに今回の製品発表にあわせて、「8000MXP Profile」、「6000MXP Profile」、「3000MXP Profile 32 インチ」は販売終了になる。

日本タンバークの売上は、「2006年から2008年にかけて売上が約2倍に増えている。」と好調だという。今までテロなどの世界的な危機においてもビデオ会議システムは伸びてきた経緯があり、今回の経済危機においてあらためて意思決定、生産性の向上、コスト削減がクローズアップされていると同社では見ており、ビデオ会議がより一層注目を浴びるのではないかと期待しているようだ。

また現在の1次販売代理店は、2月2日に締結が発表されたパナソニック電工を含め8社。今後は10社まで増やしたい考えだ。それにあわせて、営業とテクニカルサポートのスタッフも今年中に今の20名体制から30名まで増員を計画している。

KG Solutions、無料で利用できる Web 会議システムの販売開始、また Web ミーティング時の効率的な思考整理と議事録とりまとめに有効なマインドマップも提供開始

株式会社 KG Solutions (東京都品川区) は、struktur AG (ドイツ、シュトゥットガルト)、株式会社 Saloob (東京都杉並区) と提携し、SaaS 型の Web 会議システム「spread (スプリード)」サービスの提供を開始することを発表した。(1月19日)

今回の業務提携内容は以下の通り。(1) struktur 社は、KG Solutions に対して spread ソフトウェアを提供する。(2) KG Solutions は、struktur 社に対して同サービスに必要なインフラ環境を提供する。(3) 3 社は、共同で同サービスのローカライズ作業とともにマーケティング活動を実施する。(4) KG Solutions は、同サービスの日本国内販売を行う。

spread は、Flash プレーヤーに対応しインターネットブラウザ上で動作する最大同時参加者数 1000 (*同社 Web サイト情報) に対応した Web 会議システム。インターネットに接続できるパソコンがあれば、Web サイトにアクセスするだけで簡単に利用することが可能という点が特長。Spread では利用

できる機能と参加人数の制限によって、無料版と有料版のパッケージを提供する。

主な機能(一部の機能は、無料版あるいは一部機能限定版では利用できない。)は、ライブ映像・音声配信、Web 電話/電話会議、プレゼンテーション(マイクロソフトオフィスドキュメントやアドビシステムズの PDF ファイルに対応)、デスクトップ共有、リモートコントロール(参加者のデスクトップにアクセスしアプリケーションを遠隔操作)、ホワイトボード、ライブ録画(Web 会議の録画と再生)、チャット、投票アンケート、ファイル共有、マインドマッピングツール(2月3日発表)、電話からの参加、常設会議室などがある。

マインドマッピングツール「spread Map(スプリードマップ)」は、全ての spread ユーザに対し無料で提供されるコラボレーションツール。2月3日のプレスリリースによって KG Solutions から発表されている。Web ミーティングの参加者は、spread Map を利用することで、全員が同じマインドマップを共有して作業をすすめることで、効率的な思考の整理や議事録のとりまとめが簡単に行える。

spread Map は、Web ミーティングとシームレスに統合されており、オープンソースソフトウェアの「FreeMind」と完全に互換性がある。そのため FreeMind で作成したマインドマップのインポートも可能。

無料版「Free」については、一部機能が限定されているが同時に3人までの会議、1回あたり90分の会議が無料で行える。その他では、一部機能限定版かフル機能版、あるいはウェビナー(Web 会議を使ったオンラインセミナー)版が提供されている。一部機能版は、年間利用料で提供され、たとえば、一部機能限定版の「Channel-20(同時参加者数は20名)」は、1年間12,800円で利用できる。一方フル機能版の「Channel-20 Pro」は、1ヶ月19,800円あるいは1年間129,000円となっている。ウェビナー版の「Webinar-10(1回限り、同時参加者数10名)」は、2,800円となっている。

その他、一部機能限定版は、50人、100人の、またフル機能版は、5人、50人の利用料金プランも提供されている。

ウェビナー版は、25人向けもある。(利用料金はそれぞれ同社サイトで参照)

日本国内での spread は、2006年11月にスタートし、昨年よりサービスの提供を一時停止していたが、多数のサービス開始の要望が寄せられたことから、再開をすることになった。今回新たな機能を加えてバージョンアップを行い、KGSolutions では国内にあるデータセンターに専用のサーバを設置しサービスを提供する。

KGSolutions は、株式会社恒陽社グラフィック事業部(KOYOSHAGraphics)が分離独立し2007年7月に設立された。グラフィックアーツ、デザインクリエイティブ、フォトイメージング業界におけるソリューション提供からスタートし、現在はサーバホスティングサービス、Webアプリケーションの提供などより広い事業領域に対してのトータルソリューションに注力している。

Struktur AG は、シュトゥットガルトに本部を置く。ソフトウェア開発とコンサルティング事業を行っている。1995年に設立され、ビジネス環境での情報処理とプロセス最適化のソフトウェア開発に取り組んでいる。

Saloo は、最新のテクノロジーを駆使することで、中小企業を中心とした顧客ニーズに対して最適な IT ソリューションの提供を行っている。

ジャパンメディアシステムの Web 会議システム、IE 以外のブラウザ対応、プレゼンス機能追加などの新バージョンを発表

ジャパンメディアシステム株式会社(東京都千代田区)は、Web 会議システム「LiveOn(ライブオン)」ASP 版 Ver7.0、イントラパック版 Ver7.0i を1月18日より販売開始した。

今回の新バージョンでは、従来よりも一層の使いやすさを追求しているという。

(1) マイクロソフト Internet Explorer 以外の Web ブラウザに対応。Firefox 2.0 以降、Opera 9.5 以降、Safari 3.1 以降、Google Chrome 0.2 以降、Netscape 7.1 以降、Mozilla 1.4 以降に対応。

(2) プレゼンス機能の追加(ASP 版・イントラ版 共にオプション

105,000 円(税込))メンバー同士でのオンライン状況の表示の他、メッセージ交換、会議室への招集が行える。

(3) 単一ウィンドウ表示。各画面のレイアウトが自由な従来のユーザインターフェイスに加え、映像、ホワイトボード、資料共有、文字チャットなどの各画面をひとつのウィンドウ内に表示する機能を追加した。

(4) 管理者用ツール(AdminTool)機能追加(ASP 版オプション 315,000 円(税込)) 会社毎に登録されたユーザID及び会議室の情報や利用状況を一元管理可能な機能を追加。

(5) 多人数モード議長権の仕様変更。多人数モードの会議室において、メインユーザのみ起動可能であった資料共有及びアプリケーション共有機能を発言者も行えるように拡張した。なお、ASP 版において、多人数モード及びアプリケーション共有機能は、オプション(価格 各 315,000 円(税込))となる。またアプリケーション共有機能のみの場合は、1ライセンスにつき月額使用料 1,050 円(税込)追加となる。

(6) ASP サービス・サーバシステムの強化。Live On ASP サービスシステムの機能や構成の強化を実施。

業界ビジネス動向-国内

パナソニック電工 IS とタンバーク、販売代理店契約を締結

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社(大阪市北区)とタンバーク社(日本法人:日本タンバーク株式会社)は、販売代理店契約を締結。パナソニック電工 IS は、2月2日から、タンバーク社のビデオ会議ソリューションの取扱いを開始し、両者の強みを生かしたビデオ会議システムの販売拡大を図る。

パナソニック電工 IS は、2003年以降、タンバーク製品も含め数種類のビデオ会議システムを活用し、出張費用や移動時間の削減などに大きな効果をあげたという。

そこで今回販売代理店になることで、日本全国に展開する自社の販売チャネルを強みに、ユーザとしての経験

を活かした機種選定から導入後の利用頻度向上方法までの包括したソリューション提案を積極的に行い、出張旅費削減や合理化促進を図る企業からの受注獲得を目指す考えだ。タンバーク製品については、画像と音声のクオリティが非常に高く、同社の会議でも活用頻度が上がっていると評価している。

一方タンバーク社は、パナソニック電工 IS のユーザ経験に基づいたソリューション提案力と日本全国に展開する販売チャンネルに期待を見せる。

パナソニック電工 IS は、1999 年にパナソニック電工株式会社の情報システム部門が独立して設立した企業。大規模なインターネットデータセンターと東名阪を結ぶ超高速ネットワークを基盤に、50 年近くにわたるシステム構築経験と運用ノウハウを強みとした事業を展開している。

業界ビジネス動向-海外

米テレプレゼンスシステムメーカー テリリス社、1100 万 USD の増資を実施

米テレプレゼンスシステムメーカーの Teliris 社(テリリス)は増資を行ったと発表。(2 月 9 日)増資額は、1100 万 USD。今回の増資は、2007 年に行われた 4000 万 USD の資本拠出に続くもので、前回の引き受け企業である、フィデリティベンチャーズ社(Fidelity Ventures)、コロンビアキャピタル社(Columbia Capital)の他、今回あらたに“戦略的な投資家”の参画による資本強化が行われた。

今回の増資は、製品・サービス開発や R&D プロジェクトを強化する目的がある。

導入利用事例

東京と徳島を結んだ王将戦をタンバークの 1080p ビデオ会議システムがリアルタイムで中継

日本タンバーク株式会社(東京都港区)は、2009 年 1 月 18 日に東京・毎日ホールで開催された王将戦中継イベント「王将戦 2 元中継-佐藤康光棋王 私ならこう指す」(毎日新

聞社、日本将棋連盟主催)において、タンバークの HD ビデオ会議システムが活用されたと発表。

このイベントは、大塚国際美術館(徳島県鳴門市)で開催された第 58 期王将戦七番勝負第 1 局の公開対局と大盤解説会を、毎日ホールの大画面でリアルタイムに観賞できるイベントで、200 名以上の将棋ファンが観戦した。



東京と徳島の各会場には、1080p に対応したコーデックエンジン「TANDBERG Codec C90」を設置し、対局中の棋士やメインの解説用大盤を中継するだけでなく、徳島会場の背景にあった大塚美術館のミケランジェロ作「最後の審判」の陶版画も鮮明に東京の会場の画面に映し出された。



このイベントに関する日本タンバークからのプレスリリースによると、高精細な映像による 2 元生中継ながらも双方向でのやりとりがタイムラグなく可能である点や、今まで中継をする場合、中継車などの大がかりな準備と装置が必要だったが、ビデオ会議システムと従来のネットワークイン

フラをそのまま利用するだけで、準備期間が短くて開催できる点などが好評だったという。今後同様なイベントでの活用が期待できるようだ。

毎日新聞社 <http://www.mainichi.co.jp/>

日本将棋連盟 <http://www.shogi.or.jp/>

セミナー・展示会情報

<国内>

大不況を乗り切る！3つのテレビ会議 有効活用 実践・体感セミナー即効性のあるテレビ会議の有効活用手法をお伝えします！

コース1:コスト削減と業務改善を簡単に行う会議システムとは？

コース2:もっと簡単で有効な会議ネットワーク構築手法とは？

コース3:もっと快適かつ高品質な会議システムの技術とは？

日時:2月19日(木)、24日(火)*参加希望日を選択。

会場:VTVジャパン 東京本社、大阪支社

主催:VTVジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/topics/seminar/200901.html>

ポリコムイマーシブテレプレゼンス無料体験プログラム

日時:1月26日から3月31日まで

*参加者希望日に応じて毎日開催。

会場:ポリコムジャパン(東京、紀尾井町)

プリンストンテクノロジー(東京、秋葉原)

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:http://www.polycom.co.jp/event/tp_experience/

テレワーク新時代に向けて

- 普通の働き方になりつつあるテレワーク -

日時:2月16日(月)13:30-17:30

会場:ホテルルポール麹町(東京都千代田区)

主催:国土交通省

協力:社団法人日本テレワーク協会

詳細・申込:

http://www.japan-telework.or.jp/info/info_2009_01_21.html

大塚商会 実践ソリューションフェア 2009

日時&会場:

2月18日(水)・19日(木)グランキューブ大阪

主催:大塚商会株式会社

詳細・申込:<http://event.otsuka-shokai.co.jp/09/j/>

コスト削減セミナー 第1弾！

「会議・出張コストを見直せ！！」テレビ会議システム最前線

日時:2月24日(火)14:30~17:00(受付開始14:00~)

会場:大塚商会 九州支店 ラーニングセンター

(福岡市博多区)

主催:株式会社大塚商会

協力:ポリコムジャパン(株)/ソニーマーケティング(株)

詳細・申込:

<http://event.otsuka-shokai.co.jp/09/w0224bb/?rid=00>

~コスト削減！が至上命題の今だから...、
ウェブテレビ会議で移動費削減、業務効率化のご紹介
~移動費削減、人件費削減、営業会議から役員会議、
取引先との打ち合わせまで~

日時:2月24日(火)14:00-15:00

会場:オンラインセミナー

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:

<https://vcube.smartseminar.jp/public/seminar/view/44>

**世界トップシェアのタンバーク
~なぜTANDBERGが選ばれるのか~**

日時:2月25日(水)、3月3日(火)、3月12日(木)

15:00~16:30

会場:日本タンバーク 東京本社

主催:日本タンバーク株式会社

詳細・申込:

http://www.tandbergjapan.com/news_and_events/seminar_demo_nl.html

LifeSize Communications 社 ビデオ会議システム製品説明会

日時:2月26日(木) 16:00-17:00

会場:東京・大阪・名古屋・福岡 同時開催

(大阪、名古屋、福岡はビデオ会議中継)

主催:株式会社日立ハイテクノロジーズ

詳細・申込:

http://www.hitachi-hitec.com/jyouhou/hitec-vision/event/20090204_001.html

『ユニファイドコミュニケーションで創るクリエイティブワークスタイル』セミナー イトーキ・OKI 共催 第2回 『対話を促進するミーティングコミュニケーション』

日時:3月3日(火) 14:00~17:00(13:30 受付開始)

会場:イトーキ東京ショールーム

(東京都中央区入船3-2-10 アーバンネット入船ビル)

主催:株式会社OKI ネットワークス、沖電気工業株式会社、株式会社イトーキ

詳細・申込:

<http://www.oki-networks.com/jp/event/2009/090303.html>

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。まだレポートしていないニュースがありますので次回以降に掲載いたします。今後とも宜しくお願ひ致します。

CNAレポート・ジャパン 代表 橋本 啓介